

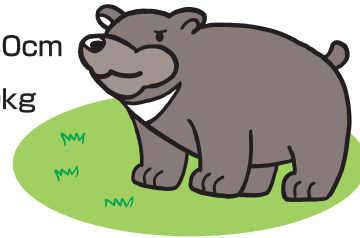
ツキノワグマの生活と人間活動



ツキノワグマってこんな動物です

ツキノワグマの特徴

- 体長** 110～130cm
- 体重** 50～100kg
- 臭覚** 敏感
- 聴力** 優れている
- 視力** あまりよくない
- 性格** おとなしい 内気 子連れの親は強気
- 特技** 木登り 水泳 走るのも速い
- 食べ物** ハチミツ、ドングリ、山菜（タケノコ、フキ、マタタビ、キイチゴ、ヤマブドウなど）が好物
昆虫（アリ、ハチ）、サワガニ、木の若芽、葉
里部に出没し栗、柿等の果樹を食べる。
- 習性** 急に背中を見せて走って逃げると反射的に追いかけてくるといわれている。
(逃げるものを追いかける)



クマの被害にあわないために!

西中国山地を中心に生息するツキノワグマは、環境省のレッドデータブックでは「絶滅のおそれのある地域個体群」として掲載されています。



クマを目撃したり、出没した形跡があったとき、クマによる農林作物等の被害があったとき、クマの被害防止対策などクマについての相談・問い合わせは、最寄りの市町役場または県の農林振興センター及び地域事務所へ

- 東部農林振興センター 0852-32-5664
- 東部農林・雲南事務所 0854-42-9556
- 東部農林・出雲事務所 0853-30-5579
- 西部農林振興センター 0855-29-5604
- 西部農林・県央事務所 0855-72-9563
- 西部農林・益田事務所 0856-31-9572

- 出没地域にすむ人に
- 山菜・キノコ狩り・溪流釣りをする人に
- キャンプ・登山をする人に

島根県農林水産部森林整備課 鳥獣対策室
〒690-8501 松江市殿町1番地 TEL0852-22-5160

一番大切なことは、

クマに出会わないようにすることです。

人間の食べ物の味を 覚えさせないようにしましょう



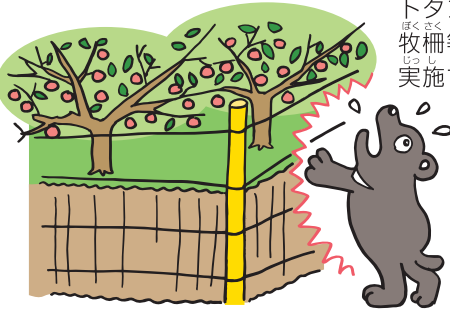
残飯や生ゴミは、
放置したり、畑などに捨てないようにしましょう。
クマを誘引する原因になります。

キャンプや登山、
溪流釣りで出たゴミは、
必ず、持ち帰りましょう。
残飯やジュース等の味をクマに覚えさせないことが大切です。

家の周辺にミツバチの
巣を発見した場合は、
巣を撤去しましょう。

ミツバチを飼っている場合は、
電気柵を設置するなど被害防止対策をしましょう。

栗、柿などの果樹を栽培している場合は、
トタンの巻き付けや電気柵等の被害防止対策を実施するとともに、クマの出没形跡に注意しましょう。



危険な出会いを 避けるようにしましょう

クマはおとなしい性質なので、驚かさなければ、クマの方から逃げて行きます。生息地域では、クマと出会わないように気をつけましょう。

山林に入る前には、
クマの出没情報を地元の人や市町役場に聞きましょう。

山林に入るときは、
二人以上で行動しましょう。
また、鈴やラジオなどの音の鳴るものを身につけ、人間の存在をクマに教えましょう。

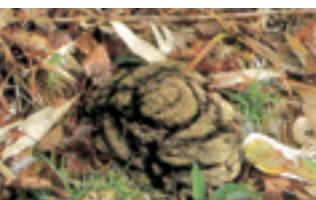


溪流釣りでは、水音や風向きで、クマも人もお互いに気付きにくくなります。常に周囲に気を配りましょう。

キノコ狩りでは、
夢中になってクマに近づいてしまうことがあります。茂みに入るときは十分注意しましょう。

早朝や夕暮れ時は、
クマの行動する時間帯と重なります。鈴など音の鳴るものを身につけ、周囲の様子に気を配りましょう。

足跡、糞などクマのいる気配を感じたら、
すみやかに引き返しましょう。



クマの糞



もし出会ってしまったら

遠くにクマを見つけたら
刺激しないようにし、慌てず、騒がず、静かに立ち去りましょう。



子グマを見かけたら
近くに親グマがいます。危険ですので、速やかに安全なところへ立ち去りましょう。

クマがこちらに気づいたら
大声で叫んだり、石や棒を投げつけたりしてはいけません。普通にしていれば、クマのほうから立ち去るはず。あわてることは事故につながります。

それでも近付いてきたら
クマは、逃げるものを追いかける習性があります。大声を出さずに、リュックなどの荷物をそっと置き、クマの気をそらしながら、ゆっくり立ち去りましょう。



クマに出会って冷静に行動できる人は多くいません。
出会わないことが一番大切です。
クマのいる山では慎重に行動しなければなりません。